



クラブ会長の計画及び目標

1. 計画

1997～1998年度 グレンW. キンロスR I会長のテーマは「SHOW ROTARY CARES ロータリーの心を あなたの住むところ 私達の世界 そこに住むすべての人々に」というロータリーの原点の戻った視点に立っていると思われます。

そして強調事項としまして

- 1) 貧困と飢餓を地球上からなくそう。
- 2) 増強と退会防止。
- 3) 四大奉仕部門すべてを通じてロータリーの心を示そう。

の3つの重要な指摘をされております。

久保田昭治ガバナーは、キンロス会長の提示されたテーマそして強調事項を十分に認識され、私達に具体的な活動指標を感動的に与えて下さいました。その際、外観や形式にとらわれずに、自主性・独創性をもってクラブ運営をして欲しいとお話しになられ、少なくとも3つ以上の成果を示して欲しいと述べされました。

私ども高崎シンフォニーロータリークラブもキンロスR I会長、そして久保田昭治ガバナーのすばらしい指針を十分に理解し、充実したロータリー活動を実践し、その使命を全うしたいと思います。

2. 目標

私どものクラブは、まだ創立間もないクラブです。その点を鑑みまして、私どものクラブのサブ・テーマは、基本的で実行可能な

「さらなる親睦と実りある会員増強を！」

とさせて頂きました。以下具体的目標を提示させて頂きます。

- 1) 楽しい例会を通して親睦を図る。

具体的には、現在、今月の曲を流すことや例会終了時に思い出の曲を歌うことなどを試みています。

- 2) 無理のない適正な会員増強を図る。

- 3) 各委員会活動をより活発にする。

- 4) ユネスコの書き損じ葉書運動を強力に推進する。

あわせて高崎ユネスコ協会との間で連繋した活動を行う。

- 5) ロータリー財団・米山奨学会を支援する。

以上、こうした活動を積み重ねながら、先輩ロータリーに恥じることのないすばらしいクラブに少しずつでも向上していきたいと念じております。

高崎シンフォニーロータリークラブ

会長 服部 瑛